

平成29年度事業報告書

I 概況

1. 入館者

平成29年度も入館者数増と当館の認知度を高めるため、様々な展示・イベントを開催いたしました。特に、今回始めて夏休み前に地元文京区の校長会に出席し、「野球で自由研究！」他、夏休み期間の各種イベントのPRを行いました。また同時に各学校にチラシ、ポスターを配布し、積極的に小・中学生の来館を働きかけました。さらに、オールドファンにとっては懐かしい後樂園スタジアム等、東京都内の今は無き野球場を紹介する「プロ野球 東京のロストボールパーク」など多彩な企画展を実施いたしました。この様に、幅広い年齢層に対し、野球の振興・普及に努めた結果、入館者数は3年振りに9万台に回復し、前年比6%増の93,150人（前年比+5,160人）になりました。この数字は、直近8年間の中で、平成25年の11万人に次ぐ入館者数となりました。

平成30年度は、長嶋茂雄氏のプロ入り60周年記念の企画展、夏の全国大会が100回となる高校野球の特別展、さらに東京ドームシティと連携した様々なイベント策を講じて、入館者数100,000人を目指してまいります。

2. 維持会員

維持会員は法人58社（前年比、同数）、個人会員134人（同、12人増）、ジュニア会員6人（同、2人増）となりました。今後も、さらに加入活動の促進と会員特典などの見直しを図り、ファン拡大に努めてまいります。

3. 野球殿堂

特別表彰の故・郷司裕氏と故・鈴木美嶺氏の表彰式を、5月27日（土）に明治神宮球場で行われた東京六大学野球早慶戦の試合開始前に行いました。熊崎勝彦理事長（当時）から、郷司氏のご子息・信之氏と鈴木氏のご子息・貴彦氏にレリーフのレプリカが贈呈され、続いて明治大学、中野速人主将から信之氏に、東京大学、山田大成主将から貴彦氏に花束が贈呈されました。

また、競技者表彰の伊東勤氏、星野仙一氏、平松政次氏の表彰式を、7月14日（金）にナゴヤドームで開催されたオールスター第1戦の試合開始前に行いました。熊崎勝彦理事長（当時）から伊東氏、星野氏、平松氏へレリーフのレプリカ贈呈に続き、ロッテの鈴木大地選手から伊東氏に、楽天の嶋基宏選手から星野氏に、横浜 DeNA の筒香嘉智選手から平松氏に花束が贈呈されました。

次に、平成30年の殿堂入りは、第57回特別表彰委員会から、故・瀧正男氏、第58回競技者表彰委員会から松井秀喜氏、金本知憲氏、原辰徳氏が選出されました。これにより、殿堂入り顕彰者は、特別表彰106名、競技者表彰95名計201名となりました。

4. 普及・広報活動

野球振興につながる事案に積極的に対応し、また当館を紹介する記事、番組の取材や撮影に積極的に協力して広報に努めました。全国野球振興会（プロ野球 OB クラブ）主催の全国少年野球教室にも、当館のパンフレットを13,000部提供するなど、開催に協力いたしました。

5. 資料収集

博物館の基礎ともなる展示資料及び図書の収集を積極的に行いました。ご協力いただいた皆様には深く感謝いたします。

①収集資料:470点(前年409点)

②収集図書:930冊(前年1,359冊)

尚、資料収集に際し、将来に何を残すかを組織的かつ円滑に行うために、「収集資料検討委員会」(原則、毎月1回開催)において協議し決定しております。

6. 館外活動

球界関係、地方公共団体や類縁機関などが主催の展覧会やイベントに際し、資料の貸出に加え、企画の相談にも対応するなど積極的に協力し、野球振興に努めました。坂の上の雲ミュージアム、北海道博物館、慶應義塾等に対し、合計6件の貸出を行いました。

7. その他

「野球殿堂博物館リニューアル検討委員会」において、殿堂ホールのレリーフ掲額スペース拡充のための改装計画を検討中で、平成30年度中には、計画案をまとめる予定です。